

報告事項オ

「令和3年度とっとり夢プロジェクト」事業の選考結果について

「令和3年度とっとり夢プロジェクト」事業の選考結果について、別紙のとおり報告します。

令和3年8月4日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

「令和3年度とっとり夢プロジェクト」事業の選考結果について

令和3年8月4日
高等学校課

1 概要

本事業は創造力とチャレンジ精神を持った高校生が、自由な発想で主体的に企画・活動することを支援し、さらには、生徒自らの自主性・個性の伸長、学校や地域の活性化につながることを目的として平成26年度から実施している。今年度は、選考を通過した以下の6企画を採択し、支援することとした。

(1) 「地元企業・高等教育機関との連携による音楽ロボット製作研究、ロボット音楽会開催と科学研究コンテスト挑戦」

(鳥取工業高校 代表 平井 優羽) (支援額 20万円)

地元企業や高等教育機関の連携のもと、AI技術・画像認識技術・VR技術などの新技術を盛り込んだ音楽ロボットシステムを製作研究する。

(2) 「竹林を活用した養豚課題改善プロジェクト～ブタ飼養環境改善と豚肉へもたらす効果の検証～」

(倉吉農業高校 代表 森口 楽) (支援額 42万円)

地元で問題となっている荒廃竹林を活用して、竹炭を作成し、飼料に混ぜ込み給餌することにより、その効果を検証(糞尿のにおい、脂肪の厚さなど)するなどして養豚課題改善を図る。

(3) 「鳥取県学生クイズ王決定戦！」

(鳥取城北高校 代表 西川 陽) (支援額 11万6千円)

鳥取県でもクイズ文化を盛り上げるため、鳥取県学生クイズ王決定戦!を開催する。

(4) 「～とっどりの魅力再発見!～若者が真剣に考えるとっとりPRプロジェクト」

(米子工業高等専門学校 代表 大山 優輝) (支援額 25万円)

TikTokを始めとしたSNSを活用し、鳥取の魅力を発信することで様々な企業からの注目を鳥取県に集め、企業を呼び込んだり、若者の定住を促したりするようなきっかけを提供する。

(5) 「AI技術を使って、鳥取の梨を守るプロジェクト！」

(米子工業高等専門学校 代表 小川 煌斗) (支援額 50万円)

AI等の先端技術を活用して社会実装につながる課題に取り組む。特に、鳥取の地場産業である農業・漁業等をAI等の先端技術により活性化する。

・カラス等による食害を低減するためにAIを用いた画像認識と撃退システム(音・光・ドローンなど)を連動させ、有害鳥類による慣れ防止機能を導入した農作物保護システムを試作

(6) 「モンゴル高専との共同研究によるPM2.5吸着材料の開発」

(米子工業高等専門学校 代表 野坂 綾乃) (支援額 50万円)

PM2.5吸着材料を開発する。

・モンゴル高専学生と連携し、モンゴルの大気を用いた試験データを用いて、開発中の素材の性能評価を実施するほか、国際科学オリンピックISEF2021への出場等を目指す。

2 応募状況

7 企画

3 選考までの経緯

- 4月16日 県内高等学校、特別支援学校高等部及び米子工業高等専門学校に
募集通知を発出
- 5月28日 受付締切
1次（書類）選考
- 7月10日 2次（プレゼンテーション）選考（オンライン開催）
- 7月19日 決定通知